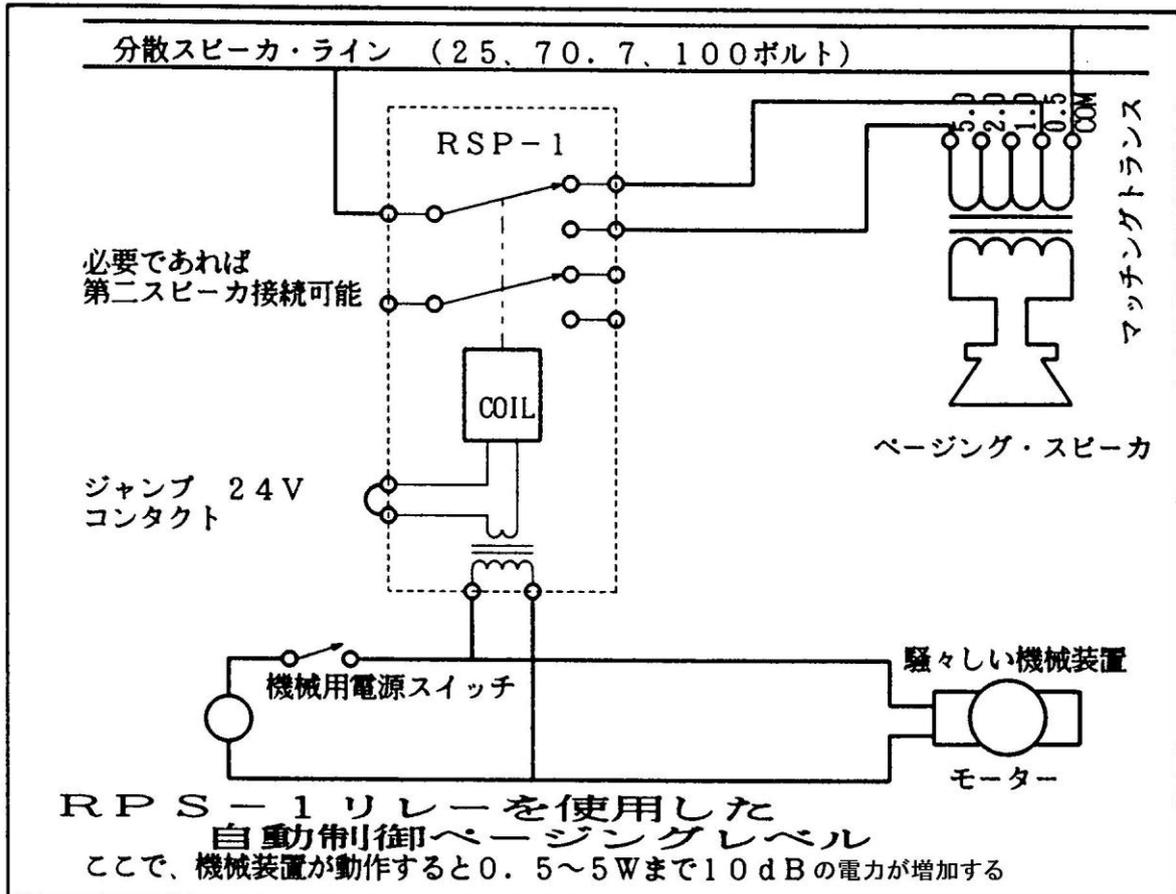


Ambient Noise Controller

周囲の騒音レベルを検知して拡声レベルを上下する

昔々工場の電源を入れるとリレーが働いて場内のBGMと拡声の再生レベルを 10 dB 上げるという設備がありました。



リレーを利用した音量増加設備

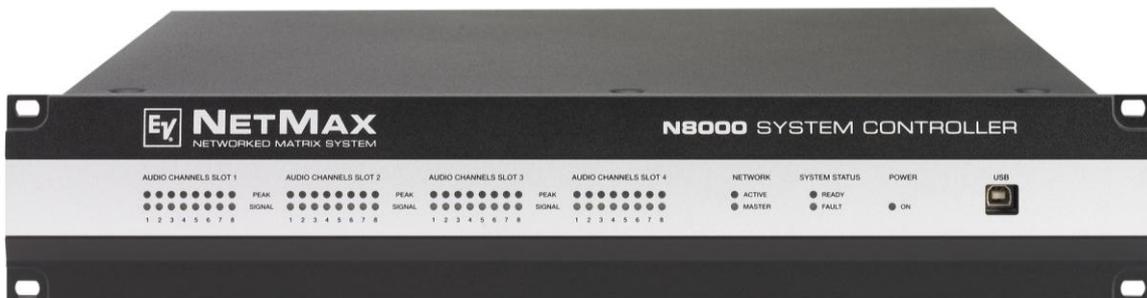
アルテック・ランシングはノアラ(NOALA)という名称でアンビエントノイズ・コントローラーを生産していました。初期のものはマイクロホンで周囲の騒音を検知して音源の音量を制御していましたが、後期のものは拡声スピーカーを騒音検知に使用していました。

リンテックはクラウドコンプという製品を作っていて日本国内でも多くのスタジアムに使用されました。クラウドコンプはマイクロホンで騒音レベル検知に使っていました。

現在、アンビエントノイズ・コントロール機能を持った製品がいくつか紹介されています。

1. N8000 ネットマックス:

デジタル・ネットワーク・マトリックス・システム (Electro Voice)



複数のマイクロホンを使って広いエリアの騒音レベルを検知することが可能。

2. PEMA シリーズ:

マイクロホンミキサーとDSP並びにマトリックスを搭載したパワーアンプ (ASHLY)



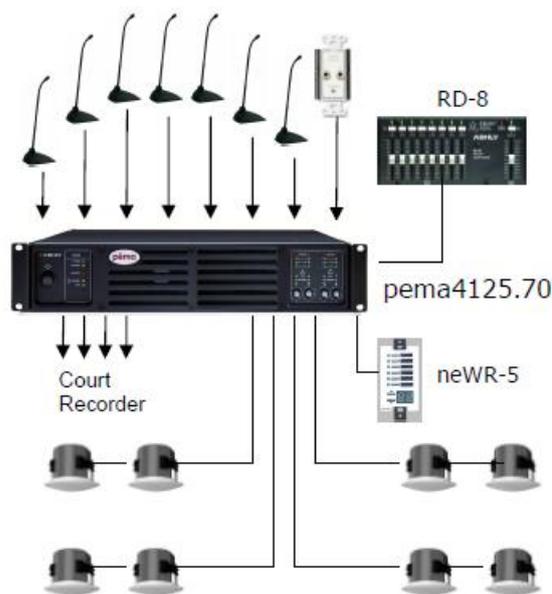
1本のマイクを使って単独エリアの騒音レベルを検知することが可能。

アシュレイのPEMAシリーズは、マイクプリアンプとDSP、8 input x 8 output のマトリックスを搭載した多チャンネルパワーアンプです。

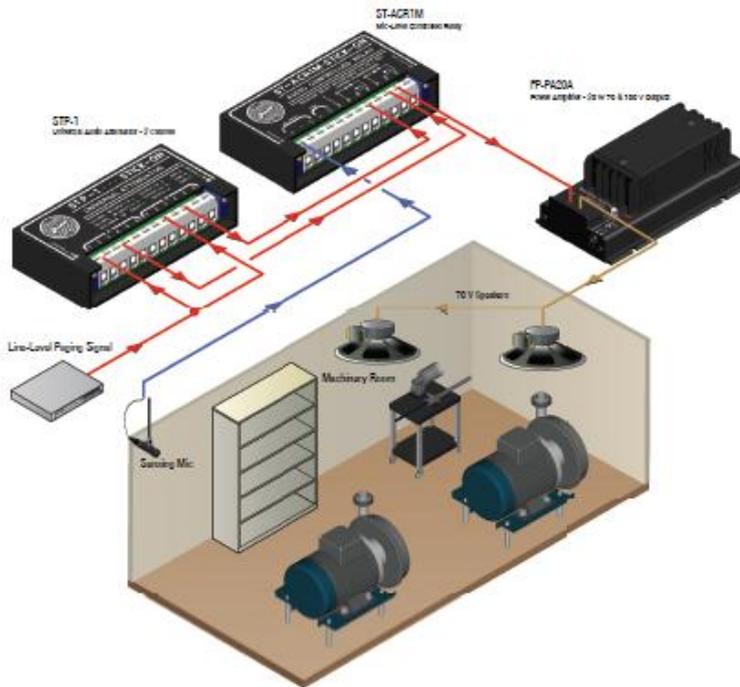
4チャンネルタイプと8チャンネルタイプがあり、4チャンネルタイプは4系統のライン出力を取り出すことができます。

NOM=1 機能のオートマチックマイクロホンミキシング機能、周辺騒音レベルに合わせて拡声レベルを調整するアンビエントノイズ・コントロール機能、ハウリングを抑えるフィードバック・サプレッサー機能を持っています。

CobraNet 入力、EtherSound 入力も付け加えることができますので、

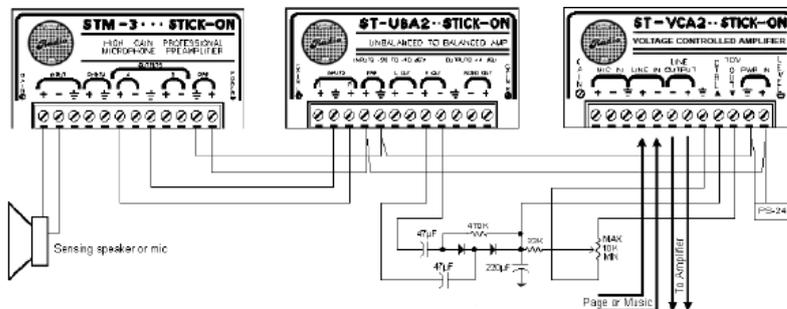


3. RDLのコンポーネントを使ったアンビエントノイズ・コントローラー



- STP-1
オーディオアッテネーター
- ST-ACR1M
マイクロホンレベル制御リレ
-
- FP-PA20A
20W 100V 出力パワーアンプ

マイクロホンで騒音レベルを検知して拡声レベルを調整



- STM-3
ハイゲインマイクプリアンプ
- ST-UBA2
2ch 不平衡対平衡変換機
- ST-VCA2
VCA

スピーカーで騒音レベルを検知して拡声レベルを調整

いずれのシステムでも騒音レベル検知用マイクロホンまたはスピーカーの取り付け位置によってシステムがうまく働かないことがあります。

騒音レベル検知機器の機種決定並びに位置決定、システム設定には経験のあるエンジニアの手助けが必要になるので、十分な調整費用を確保しておく必要があります。

4. マエストロシリーズ (HSS)

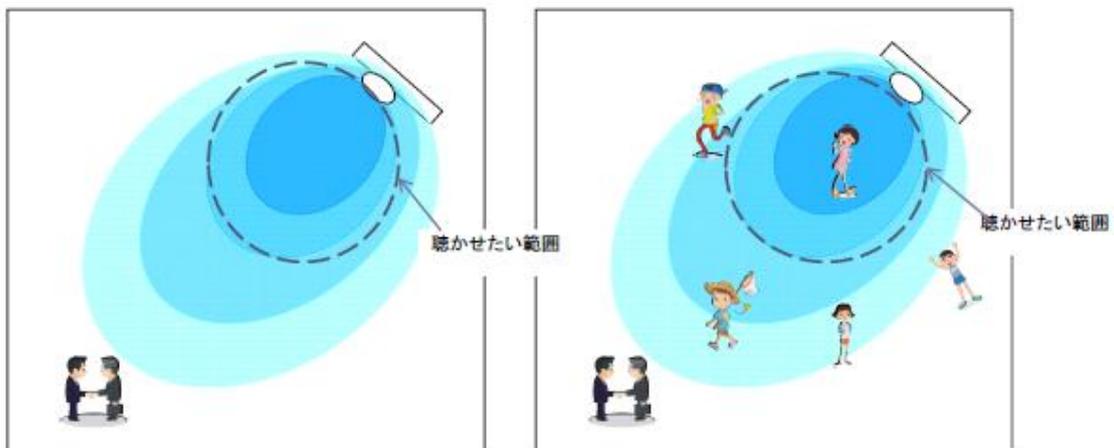


Maestro SD-16



Maestro SD-8

展示製品、デジタルディスプレイ周辺の騒音レベルを検知することが可能



周囲の騒音レベルが上がるとスピーカー音が自動的に上がり、騒音レベルが下がるとスピーカー音も自動的にさがり、スピーカー音の聞こえる範囲は周囲の騒音レベルが変化しても常に一定で変わりません。

各製品の詳細資料を用意していますので、弊社まで請求ください。